

鴨川市第 5 次 5 年計画

(素案)

目次

第6章 基本計画（総論）	3
1 施策体系図	3
2. S D G s の推進	5
3. 進行管理体制	6
4. 財政の見通し	6
第7章 基本計画（各論）	7
基本方針1. 地域の特色を活かした賑わいと活力あるまち	7
基本方針2. 魅力あふれる住みやすいまち	13
基本方針3. 自然と共生する安心・安全なまち	17
基本方針4. 夢と学びのまち	22
基本方針5. 健やかに暮らせる福祉のまち	26
基本方針6. 健全で効率的な行財政運営を実現するまち	30
第8章 総合戦略	33
資料編	33
1. 各種条例	33
2. 計画策定の経過・委員名簿	33
3. 用語一覧	33

第6章 基本計画（総論）

1 施策体系図

基本構想で設定した6つの基本方針により、以下のとおりその基本政策・個別計画を位置づけます。個別計画は、各分野における取組を着実に推進していくため、その具体的な取組内容を記載した計画・方針・指針などを示すものです。

基本方針 1

地域の特色を活かした賑わいと活力あるまち

- (1) 持続可能な農林水産業の振興
- (2) 地域に根ざした商工業の振興と企業等の誘致
- (3) 多様な観光・交流の振興
- (4) 移住・定住の促進

個別計画

- ・ 鴨川市産業振興促進計画
- ・ 鴨川市鳥獣被害防止計画
- ・ 鴨川市森林整備計画
- ・ 鴨川市森林環境整備基本計画
- ・ 農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想
- ・ 鴨川農業振興地域整備計画
- ・ 市営漁港機能保全計画等
- ・ 鴨川市海辺のグランドデザイン
- ・ 鴨川市創業支援等事業計画

基本方針 2

魅力あふれる住みやすいまち

- (1) 利便性の高い地域交通体系の整備
- (2) 快適で安全な居住環境の整備
- (3) 上下水道の整備
- (4) 環境衛生施設の整備

個別計画

- ・ 鴨川市地域公共交通計画
- ・ 鴨川市耐震改修促進計画
- ・ 鴨川市営住宅長寿命化計画
- ・ 鴨川市橋梁長寿命化修繕計画
- ・ 鴨川市法面修繕計画
- ・ 鴨川市トンネル長寿命化修繕計画
- ・ 鴨川市道路附属物長寿命化修繕計画
- ・ 鴨川市舗装修繕計画
- ・ 鴨川市空家等対策計画

基本方針 3

自然と共生する安心・安全なまち

- (1) 自然環境の保全と環境意識の高揚
- (2) 循環型社会の形成と脱炭素化の推進
- (3) 消防・防災体制の整備充実
- (4) 防犯・交通安全対策の推進

個別計画

- ・ 鴨川市環境基本計画
- ・ 鴨川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
- ・ 鴨川市災害廃棄物処理計画
- ・ 鴨川市地域防災計画
- ・ 鴨川市国民保護計画

※個別計画の名称は、計画策定時点

基本方針 4

夢と学びのまち

- (1) 生きる力を育む学校教育の充実
- (2) 生涯学習の充実と文化の振興
- (3) スポーツの振興

個別計画

- ・ 鴨川市教育振興計画
- ・ 鴨川市文化財保存活用地域計画

基本方針 5

健やかに
暮らせる
福祉のまち

- (1) 健康寿命の延伸と生涯現役生活の実現
- (2) 安心して産み、育てられる子育て支援の推進
- (3) みんながいきいきと暮らせる社会の形成

個別計画

- ・ 鴨川市男女共同参画計画
- ・ 鴨川市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）及び特定健康診査等実施計画
- ・ 鴨川市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- ・ 鴨川市健康福祉推進計画
- ・ 鴨川市障害者（児）福祉総合計画
- ・ 鴨川市こども計画
- ・ 鴨川市特定事業主行動計画
- ・ 鴨川市障害者職員活躍推進計画

基本方針 6

健全で効率的な
行財政運営を
実現するまち

- (1) 市民サービスの安定化と利便性向上
- (2) 健全な財政基盤の確立

個別計画

- ・ 鴨川市DX推進計画
- ・ 鴨川市定員適正化計画
- ・ 強い鴨川づくりに向けた財政等適正化基本方針及び実施計画
- ・ 鴨川市公共施設等総合管理計画
- ・ 鴨川市公共施設等個別施設計画
- ・ 鴨川市立国保病院経営強化プラン

6つの基本方針にまたがる個別計画

- ・ 鴨川市都市計画マスタープラン
- ・ 鴨川市過疎地域持続的発展計画
- ・ 鴨川市国土強靱化地域計画

2. SDGsの推進

SDGsは、「Sustainable Development Goals」の略で、平成27年の国連サミットにおいて全会一致で採択された、令和12年を目途とした国際社会の共通目標です。持続可能な世界を実現するための包括的な17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」社会の実現を目指し経済・社会・環境をめぐる広範な課題に対する統合的な取組が示されています。

国は平成28年12月に「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」を策定し、地方自治体に対し、その達成に向けた取組を求めています。本市においても、これまで持続可能な社会の実現に向け、様々な取組を推進してきました。

さらに、本計画の推進を通じてSDGs達成を一層促進するため、総合計画とSDGsの取組を一体的に推進していきます。



3. 進行管理体制

基本計画及び実施計画に位置付けた施策・事業については、行政事業レビューの仕組み等を活用し、PDCAサイクルを循環させ、進行管理を行います。

基本計画【Plan(計画)】に位置付け推進している施策【Do(実行)】に対して、評価指標の達成状況を把握・検証【Check(評価・検証)】し、次期基本計画を策定する際に施策の見直し・改善【Action(見直し)】を図ります。

このためには、実施計画【Plan(計画)】に位置付け実施をしている事務事業【Do(実行)】に対して、毎年、活動指標に対する達成状況を把握し、これを検証【Check(評価・検証)】した上で、この検証結果に基づいて、次期実施計画を策定する際に事務事業の見直し・改善【Action(見直し)】を図ることとします。また、検証の結果は公表し、市民への周知を図ります。

なお、実施状況の検証結果や社会経済情勢の急激な変化等によって基本計画等の内容に変更を加える必要が生じた場合は、計画期間中であっても、所要の改定を行うものとします。

PDCAサイクル



4. 財政の見通し

(調製中)

第7章 基本計画（各論）

基本方針1. 地域の特色を活かした賑わいと活力あるまち



現状と課題

- ・農業産出額は減少傾向にあり、従業者数の減少・高齢化に加え、有害鳥獣による被害の増加、資材・燃料費の高騰等が主な要因として考えられます。さらに、耕作放棄地の増加、後継者不足が懸念されています。
- ・市内の事業所数・就業者数は減少傾向にあります。製造業、卸売・小売業の事業所数及び就業人口についても地域の高齢化が進み、減少を抑えられていない状況です。市内事業所製造品出荷額等及び年間商品販売額では、年間商品販売額が大幅に減少しています。一方、医療・福祉産業人材養成人数は、着実な成果が出ています。
- ・観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年は大幅減少となりましたが、近年は回復傾向にあります。
- ・転入者は、施策の成果として増加していますが、全体としては減少傾向にあり、転出超過が拡大しています。そのため、地元出身者が帰ってくるための施策など、本市の魅力を効果的に発信することが期待されています。

目指すべき姿

- ・地域資源や文化を活用した観光やイベントでにぎわいが生まれ、地元産業や商店が活性化している。
- ・市民や来訪者がまちの魅力を実感し、多様な人々が移り住み、定住し、地域の活力が持続している。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
農業産出額	調整中	調整中	
年間漁獲量	調整中	調整中	
市内事業所製造品出荷額等及び年間商品販売額	調整中	調整中	
観光消費額	調整中	調整中	
鴨川市ふるさと回帰支援センターを介した移住者数（累計）	調整中	調整中	

基本施策

(1) 持続可能な農林水産業の振興

- ・豊かな自然環境を活かした農林水産業を次世代へと継承していくため、担い手の育成や経営の安定化、ブランド化、スマート技術の導入を進めます。
- ・環境と調和した生産や地産地消の推進により、食の安全・安心を確保しつつ、持続可能で活力ある産業基盤を形成します。
- ・農地や漁港、森林などの計画的な基盤の整備・改修や、施設の長寿命化などのインフラの更新を推進し、災害に強い安定した生産環境を確保するとともに、新規従事者の発掘・育成、経営支援を通じて担い手の確保を図ります。
- ・水産資源や森林の適切な管理に加え、耕畜連携を推進し、森林の保全や水源涵養など多面的機能を発揮させながら、農林水産業全体の持続的な発展を図ります。
- ・近年深刻化するサル、シカ、イノシシなどによる被害に対応し、地域ぐるみでの有害鳥獣対策を推進します。
- ・付加価値の創出、販路拡大を進めるとともに、拠点となる総合交流ターミナル「みんなみの里」の充実を図り、地域の魅力発信と活力向上を図ります。特に水産業においては、漁業協同組合等と連携し、地魚を活かしたブランド力向上と販売促進を図ります。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
経営耕地面積	調整中	調整中	
認定新規就農者数（累計）	調整中	調整中	
有害鳥獣による年間農作物被害額	調整中	調整中	
森林の整備面積（間伐・造林等）（累計）	調整中	調整中	
新規就漁者（累計）	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ 有害鳥獣対策事業
- ・ 農地の集約化及び利用促進事業
- ・ 新規就農者確保育成事業
- ・ 担い手支援事業
- ・ 水産業振興補助事業
- ・ 農業振興事業
- ・ 日本型直接支払制度促進事業
- ・ 交流拠点の再編・整備事業
- ・ 農業生産基盤の整備及び維持管理事業
- ・ 農業用ため池・ダム維持管理適正化事業
- ・ 農地地すべり管理事業
- ・ 農道維持管理事業
- ・ 林業振興事業
- ・ 林道整備事業
- ・ 森林整備事業
- ・ 漁港施設維持管理事業
- ・ 県営漁港整備負担金事業

(2) 地域に根ざした商工業の振興と企業等の誘致

- ・ 商工業の活性化を図るため、地域資源を活かした特色ある産業の育成や、既存事業者の経営力強化を支援します。
- ・ 景気の影響を受けやすい 中小・小規模事業者に対し、金融機関を通じた融資と利子補給により資金繰りを支援し、市内中小企業の振興を図ります。
- ・ 戦略的な企業誘致や創業支援を通じて新たな雇用を創出し、人口減少に対応できる活力ある地域経済の循環を実現します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
市内事業所数（製造業・小売業）	調整中	調整中	
市内就業人口（市内事業所で市外居住者を含む就業者数）（製造業、卸売・小売業）	調整中	調整中	
立地企業及び事業所の増加・拡充件数（累計）	調整中	調整中	
市民の就業率	調整中	調整中	
ふるさとハローワークの紹介による就業者数（累計）	調整中	調整中	
市内若年者（15 歳以上 34 歳以下）就業者数	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ 企業立地等促進事業
- ・ 商工会活動等支援事業
- ・ 中小企業経営等支援事業
- ・ ふるさとハローワーク機能強化事業
- ・ 里山オフィス管理運営事業
- ・ 遊休施設活用推進事業

(3) 多様な観光・交流の振興

- ・本市の自然環境や文化・歴史など多様な魅力を広く発信し、観光資源として磨き上げること
で、来訪者の増加と交流人口の拡大を目指します。
- ・観光を契機とした地域住民と来訪者との交流を促進し、地域のにぎわいづくりと経済の持続
的発展につなげます。
- ・既存の観光施設や地域資源の整備・活用を推進し、観光客や交流人口・関係人口の増加を図
ります。
- ・前原・横渚海岸を活かした新たな観光コンテンツの開発や市民会館跡地の活用検討、魅力体
験広場の維持管理及び機能拡充による賑わい創出を図ります。
- ・鴨川観光プラットフォームと連携し、官民協働による持続可能で魅力的な観光・交流を図り
ます。
- ・シティプロモーションを推進し、ターゲットを明確にしたうえで本市の魅力を効果的に発信
し、まち全体の活力を高めます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
年間宿泊者数	調整中	調整中	
年間観光入込客数	調整中	調整中	
みんなみの里の年間入込客数	調整中	調整中	
鴨川オーシャンパークの年間入込客数	調整中	調整中	

●主な取組

- ・観光客誘致イベント支援事業
- ・海辺の魅力づくり推進事業
- ・観光プロモーション事業
- ・観光プラットフォーム事業
- ・魅力体験広場維持管理事業
- ・観光振興検討事業
- ・観光団体機能強化支援事業
- ・オーシャンパーク管理運営事業
- ・海岸美化活動支援事業
- ・海水浴場運営事業
- ・市営駐車場維持管理事業

(4) 移住・定住の促進

- ・子育てや教育、医療など安心して暮らせる生活環境を整備するとともに、ふるさと回帰支援センターを基軸とした空き家バンクの活用による住まいの確保や地域の魅力を積極的に発信することで、積極的に移住希望者を受け入れます。
- ・Ｕターン移住の促進に重点的に取り組み、地域にゆかりのある人材の定着を図ります。
- ・地域住民との交流やコミュニティづくりを支援し、移住者が地域に溶け込みやすい環境を整えるとともに、帰郷意識の醸成を図り安定的な定住につなげます。

●重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
鴨川市ふるさと回帰支援センターを介した 年間移住者数	調整中	調整中	

●主な取組

- ・移住定住支援事業
- ・鴨川市ふるさと回帰支援センターの運営
- ・空き家バンク制度の運用
- ・移住就業支援金の交付

基本方針2. 魅力あふれる住みやすいまち



現状と課題

- ・公共交通の利用者数は減少傾向にあり、鉄道の減便などによる利便性の低下が懸念されています。市民アンケートでは、路線バスの利用しやすさの満足度が低くなっており、高齢者等を含む誰もが使いやすい公共交通網が求められています。
- ・市道の改良率は停滞していますが、市民アンケートでは「身近な道路の安全性」の向上が特に求められています。
- ・市営住宅の入居率は、着実に成果があがってきています。空き家の情報受理件数に対する改善率について、一定の成果をあげています。
- ・上水道については、安定的な供給が継続されており、今後は生活排水の浄化のために合併処理浄化槽の普及促進を図ることが求められています。

目指すべき姿

- ・誰もが快適に安心して暮らせる住環境が整い、日常の移動にも困らない便利な地域交通が確保されている。
- ・上下水道や環境衛生施設などの生活基盤が適切に整備され、清潔で快適な生活が送れている。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「国・県道など幹線道路の整備促進」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
市内を運行する路線バスの1日当たりの平均利用者数	調整中	調整中	
住宅の耐震化率	調整中	調整中	
合併処理浄化槽設置率	調整中	調整中	

基本施策

(1) 利便性の高い地域交通体系の整備

- ・地域公共交通計画に基づき、民間事業者や沿線自治体と連携し、地域公共交通網の維持確保と利便性向上を図ります。
- ・広域的な道路ネットワークの強化と国・県道、市道の整備を計画的に進めるとともに、橋梁やトンネル等の安全対策を徹底し、信頼性の高い道路網を確保します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「鉄道の利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
「路線バスの利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
「高速バスの利用しやすさ」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・コミュニティバス運行事業
- ・予約制乗合タクシー運行事業
- ・地域公共交通確保対策事業
- ・民間路線バス維持確保事業
- ・市道整備事業
- ・道路橋梁維持補修事業
- ・道路橋梁維持補修事業（長寿命化事業）
- ・道路メンテナンス事業
- ・道路台帳整備事業
- ・社会資本整備総合交付金事業

(2) 快適で安全な居住環境の整備

- ・狭あい道路の拡幅、危険住宅移転支援、公園の適切な維持管理、民間開発の適切な指導により良好な住宅地を形成します。
- ・既存住宅の耐震化・改修、空き家の発生予防・活用、管理不全空き家の解消を図ります。
- ・市営住宅は長寿命化計画に基づき維持管理し、高齢者に配慮した住環境を整備します。
- ・さらに都市計画に基づく市街地整備を推進し、安心・快適な生活環境を実現します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「住宅環境の充実」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
「都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
空き家の情報受理件数に対する改善率	調整中	調整中	

●主な取組

- ・住宅・建築物耐震改修等事業
- ・市営住宅維持管理事業
- ・空き家対策事業
- ・狭隘道路整備事業
- ・公園維持管理事業
- ・花壇維持管理事業

(3) 上下水道の整備

- ・安房地域水道事業統合・広域化基本計画に基づき、適正な財源確保と投資の合理化により、安全で持続可能な水供給体制を確保します。
- ・水質保全、合併処理浄化槽への転換促進、排水路整備による浸水対策を進め、衛生的な生活環境を維持します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
合併処理浄化槽設置率	調整中	調整中	

●主な取組

- ・下水路維持管理事業
- ・排水機場維持管理事業
- ・家庭用小型合併処理浄化槽設置補助事業
- ・安房郡市広域市町村圏事務組合費（水道事業）

(4) 環境衛生施設の整備

- ・ごみの減量化や資源化、広域連携処理を推進し、安定的な処理体制とコスト削減を図ります。
- ・中継施設の運営や収集運搬体制の整備を進めるとともに、衛生センターの老朽化対応として更新を行い、し尿及び浄化槽汚泥の安定処理体制を確保します。
- ・広域火葬場の適正運営に努め、将来にわたり衛生的な生活環境の維持を目指します。

●主な取組

- ・衛生センター更新事業
- ・し尿処理事務費
- ・し尿処理施設維持管理費
- ・安房郡市広域市町村圏事務組合費（火葬場運営）

基本方針3. 自然と共生する安心・安全なまち



現状と課題

- ・ 自然環境の保護・保全施策の推進が求められている中、不法投棄物の年間撤去量は、増加傾向にあります。
- ・ 1人1日当たりのごみ排出量は改善がみられますが、リサイクル率については向上が見られません。
- ・ 住宅用省エネルギー等設備の導入数は増加しています。
- ・ 防災訓練等の年間参加者数は増加しており、市民アンケートや市民懇談会でも地域における防災意識の高まりがうかがえる一方、災害発生時の避難困難者への対応が課題となっており、防災対策のさらなる強化・充実が求められています。
- ・ 年間交通人身事故発生件数及び年間犯罪発生件数は減少傾向にあり、消費生活相談件数はほぼ横ばいで推移していますが、さらなる安心・安全な地域づくりのため、今後も継続的な取組が求められています。

目指すべき姿

- ・ 市民の環境意識が高まり、豊かで多様な自然環境が守られ、ごみの減量や再資源化、脱炭素の取組が進んでいる。
- ・ 災害や事故・犯罪に強い体制が整い、市民が互いに支え合い誰もが安心して暮らせている。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
1人1日当たりのごみ排出量	調整中	調整中	
リサイクル率	調整中	調整中	
温室効果ガス排出量削減率	調整中	調整中	
消防団員充足率	調整中	調整中	
年間交通事故発生件数	調整中	調整中	
年間犯罪発生件数	調整中	調整中	

基本施策

(1) 自然環境の保全と環境意識の高揚

- ・地球温暖化対策の推進や大気・水質など生活環境の保全、豊かな自然環境や景観の保全を進めます。
- ・市民・事業者・行政が連携し、環境美化活動や意識啓発、不法投棄のパトロール、地域全体で環境への理解と行動を深め、将来にわたり自然と共生できるまちを実現します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「公害防止等の環境保全施策の推進」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
不法投棄物の年間撤去量	調整中	調整中	

●主な取組

- ・地球温暖化対策事業
- ・住環境美化推進事業
- ・不法投棄防止対策事業
- ・住宅用設備等脱炭素化促進事業

(2) 循環型社会の形成と脱炭素化の推進

- ・ごみの減量化・資源化や分別の徹底、処理施設の広域化を推進し、資源循環型社会の構築を目指します。
- ・温室効果ガス削減や再生可能エネルギー利用促進など脱炭素化に取り組み、市民・事業者・行政の協働により、持続可能な社会の実現を図ります。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
1人1日当たりのごみ排出量	調整中	調整中	
リサイクル率	調整中	調整中	
温室効果ガス排出量削減率	調整中	調整中	

●主な取組

- ・広域廃棄物処理事業
- ・ごみ処理対策事業
- ・クリーンステーション鴨川運営・維持管理事業
- ・クリーンステーション鴨川整備事業
- ・塵芥処理事業
- ・塵芥収集事業
- ・

(3) 消防・防災体制の整備充実

- ・過去の災害経験を活かし、平時からの関係機関との連携、災害対策本部設置訓練の実施、防災資機材の整備を進め、消防・救急体制の強化と防災基盤の整備を進めます。
- ・市民の自助・共助を育む防災訓練や出前防災教室により防災に関する意識を高め、自主防災組織の育成、消防団や災害ボランティアとの連携、情報伝達体制の充実により、災害時の迅速対応と被害の最小化を図ります。
- ・災害発生時に障がいのある人や高齢者など避難行動要支援者の安全を確保するため、一人ひとりの状況に応じた個別避難計画の策定を推進し、地域防災力の向上につなげます。
- ・土砂災害や水害の発生を未然に防止し、災害に強いまちづくりを進めます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
防災訓練参加者数（累計）	調整中	調整中	
出前防災教室参加者数（累計）	調整中	調整中	

●主な取組

- ・消防団運営事業
- ・防災教育・訓練事業
- ・災害対策事業
- ・防災情報伝達事業
- ・自主防災組織育成事業
- ・安房郡市広域市町村圏事務組合費（常備消防費）
- ・避難行動要支援者（要援護者）支援事業
- ・下水路維持管理事業（再掲）
- ・排水機場維持管理事業（再掲）
- ・河川改修事業
- ・河川維持補修事業
- ・急傾斜地崩壊対策事業

(4) 防犯・交通安全対策の推進

- ・警察や地域団体との連携により、交通安全施設の整備、児童等への交通安全啓発、防犯灯の適正配置・LED化、防犯教育を推進します。
- ・消費生活相談体制の充実や情報提供、啓発活動を通じて消費者被害の未然防止に取り組めます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「消費者トラブルや悪徳商法等への対応の充実」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・防犯対策事業

基本方針4. 夢と学びのまち



現状と課題

- ・子育て・教育に対するニーズが多様化するなか、「お子さんは学校生活を楽しく送っている」と回答した保護者アンケートの結果は、概ね 90%の高い数値を維持しています。
- ・子どもたちが将来に希望を持ち、夢を実現できるような環境を整備することが求められています。
- ・児童生徒数の減少等により小中学校の適正規模に関する検討や、公民館等の廃止に伴い文化活動の場所の確保について関心が高まっています。
- ・郷土の歴史文化を次世代に継承するため、市民一人ひとりの地域への関心を高める必要があります。
- ・大学等との連携による取組については、参加者数が減少傾向にあります。
- ・総合運動施設の利用者数や鴨川オーシャンスポーツクラブの会員数は、順調に増加・維持していますが、より多くの市民が運動を習慣化するため取組を継続的に行う必要があります。

目指すべき姿

- ・主体的に学べる教育環境が整えられ、子どもが「知」「徳」「体」のバランスの取れた「生きる力」を身につけている。
- ・子どもから高齢者まで学び続けられる生涯学習や文化・スポーツとふれあう機会がある。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合（小5、中2）	調整中	調整中	
郷土資料館・文化財センターの年間利用者数	調整中	調整中	
1 日 30 分以上の運動を実施している人の割合（40～74 国保加入者）	調整中	調整中	
総合運動施設の年間利用者数	調整中	調整中	

基本施策

(1) 生きる力を育む学校教育の充実

- ・ 保幼小中一貫教育を推進し、発達段階に応じた切れ目のない学びを提供するとともに、インクルーシブ教育の充実やＩＣＴを活用した個別最適化学習を進め、多様な子どもの資質・能力を最大限に伸ばします。
- ・ ＳＤＧｓに基づく持続可能な社会づくりを担う教育、不登校や就学に対する支援、安全な学校施設整備に取り組みます。
- ・ 地域や家庭と連携した学校運営、特色ある学校づくり、栄養バランスの取れた学校給食を通じ、児童生徒が地域に誇りをもち、未来を切り拓く力を育む教育環境を整えます。

●重要業績評価指標（ＫＰＩ）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	調整中	調整中	
「お子さんは小学校または中学校生活を楽しく送っている」と回答した保護者の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ 鴨川地区統合小学校整備事業
- ・ 外国語教育推進事業
- ・ 学習支援員等派遣事業
- ・ 学校運営協議会推進事業
- ・ 不登校児童生徒支援事業
- ・ 小・中学校施設改修事業
- ・ 生徒通学費補助事業
- ・ 児童・生徒援助奨励事業
- ・ 小・中学校教育コンピュータ管理事業
- ・ 小・中学校教育振興事業
- ・ 給食センター維持管理費
- ・ 給食事業

(2) 生涯学習の充実と文化の振興

- ・ 市民一人ひとりが主体的に学び合い、人生を豊かにする学習機会を確保するため、大学等との連携や社会教育施設の適正配置、図書館の機能強化を進めます。
- ・ 地域の自然や歴史、文化を活かした体験学習や交流の場を広げ、文化・芸術活動の発表・鑑賞の機会を充実させるとともに、文化財の保存・活用を推進します。
- ・ 青少年の健全育成を地域全体で支える体制を整え、生涯を通じて学びと文化に親しみ、誇りを持てるまちづくりを進めます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
図書館個人貸出冊数	調整中	調整中	
文化祭、市民音楽祭、公民館まつり等の内容に満足した市民の割合	調整中	調整中	
生涯学習人材バンクボランティア登録者数	調整中	調整中	
展覧会・講座・見学会の内容に満足した市民の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ 放課後子ども教室運営事業
- ・ 地域学校協働本部運営事業
- ・ 青少年海外派遣事業
- ・ 文化活動事業
- ・ 大学等交流事業
- ・ 公民館事業の充実（公民館教室開催事業）
- ・ 公民館維持管理費
- ・ 文化財保護事業
- ・ 移動教室バス事業
- ・ 二十歳の集い事業
- ・ 国内姉妹都市等交流事業

(3) スポーツの振興

- ・市民が生涯にわたりスポーツを楽しむ、体力向上、健康増進及び交流を図ることのできる環境を整備するとともに、スポーツツーリズムなどでの多様な利活用に資するため、総合運動施設や社会体育施設等の計画的整備と効率的運営を進めます。
- ・地域スポーツコミッションとの役割分担と連携のもと、市民の参加促進や大会・合宿誘致を推進し、豊かな自然環境や温暖な気候を活かしたスポーツ観光交流を推進します。
- ・多世代が集える拠点である小湊さとうみ学校を活用し、スポーツ及び文化を通じた交流の場を提供することにより、市民の健康の保持増進とスポーツツーリズムの推進を図り、交流人口の拡大を目指します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
小湊さとうみ学校利用者数	調整中	調整中	
鴨川オーシャンスポーツクラブの会員数	調整中	調整中	
総合運動施設を合宿利用した年間宿泊者数	調整中	調整中	

●主な取組

- ・総合運動施設整備事業
- ・総合運動施設維持管理事業
- ・市民スポーツ振興事業
- ・マリーンズ交流推進事業

基本方針5. 健やかに暮らせる福祉のまち



現状と課題

- ・ 少子高齢化が加速するなか、誰もが長く元気に過ごせるよう健康寿命の延伸が重要となっていますが、本市の健康寿命は県平均を下回っている状況となっています。また、特定健診の受診率が低下している一方、福祉総合相談センターの新規相談受付件数は増加傾向にあります。
- ・ 合計特殊出生率は減少傾向が続き、令和5年度時点で1.01と、平成17年の合併以降最低となっています。子どもの医療費助成は充実しているものの、子育て世代を増やす施策の充実が求められています。
- ・ 地域福祉の担い手となる福祉関連ボランティアの登録者数は、減少傾向に歯止めがかかっていない状況にあり、日常生活における買い物に困っている買い物難民等への施策が求められています。
- ・ 近隣市町と比べて外国人の割合が増加傾向にあります。外国人が言葉や文化の違いでコミュニケーション不足とならないための対策が求められています。

目指すべき姿

- ・ 健康づくりや介護予防に取り組み、市民の健康寿命が延びている。
- ・ 出産支援、子育て支援が充実し、安心して産み、子どもを育てられている。
- ・ すべての市民が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域共生社会の実現が進んでいる。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
健康寿命（平均自立期間）男	調整中	調整中	
健康寿命（平均自立期間）女	調整中	調整中	
合計特殊出生率	調整中	調整中	
子育ては楽しいと感じる保護者の割合	調整中	調整中	
福祉関連ボランティア登録者数	調整中	調整中	

基本施策

(1) 健康寿命の延伸と生涯現役生活の実現

- ・医療・福祉関連産業の集積という強みを活かし、医療・介護サービスの質向上と人材確保、地域包括ケアシステムの充実を進めます。
- ・フレイルを予防し、ライフコースアプローチに応じた健康づくりと生活習慣病予防、災害時対応を含む地域医療体制の強化を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる支援体制を整えます。
- ・就労や地域活動への参加を促し、生涯にわたり健やかに活躍できる環境づくりを推進します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
特定健診の受診率	調整中	調整中	
特定健診受診者に占めるメタボリックシンドローム該当者の割合（男）	調整中	調整中	
特定健診受診者に占めるメタボリックシンドローム該当者の割合（女）	調整中	調整中	
市の魅力を「保健・医療・福祉が充実した都市」と考える市民の割合	調整中	調整中	
自分が健康だと思う市民の割合（40～64歳）	調整中	調整中	
自分が健康だと思う市民の割合（一般高齢者）	調整中	調整中	
高齢者に占める要介護認定者数の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・栄養改善事業
- ・予防接種事業
- ・各種検（健）診事業
- ・特定健康診査事業
- ・介護予防普及啓発事業
- ・健康福祉推進計画策定事業
- ・老人福祉施設措置事業
- ・介護人材確保対策事業
- ・安房郡市広域市町村圏事務組合費（保健衛生総務費）

(2) 安心して産み、育てられる子育て支援の推進

- ・ 妊娠期から 18 歳まで切れ目のない支援体制を整備し、子どもの健やかな成長を地域全体で支えます。
- ・ 保育ニーズの多様化に対応したサービス提供、相談体制や経済的支援の充実、児童虐待防止対策を推進し、家庭の負担や不安を軽減します。
- ・ 地域の見守りや交流の場づくりを進め、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和 12 年度)	備考
こども園に行くことが楽しいようにみえ ると回答した保護者の割合	調整中	調整中	
子育ては楽しいと感じる保護者の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ 母子保健事業
- ・ 母子歯科口腔保健事業
- ・ 家庭児童相談室運営事業
- ・ 乳児家庭全戸訪問事業
- ・ 養育支援訪問事業
- ・ 妊婦のための支援給付事業
- ・ 妊婦等包括相談支援事業
- ・ 子ども医療費給付事業
- ・ 教育・保育施設障害児等受入促進事業
- ・ 子ども・子育てトータルサポート事業
- ・ 児童手当費
- ・ 児童扶養手当費
- ・ 母子家庭及び父子家庭等自立支援事業
- ・ 教育・保育給付等事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 放課後児童健全育成事業
- ・ 地域子育て支援拠点事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 病児保育事業

(3) みんながいきいきと暮らせる社会の形成

- ・福祉総合相談センターを中心として、様々な主体と連携し、支援体制の整備を推進します。
- ・障害者施策や生活困窮者支援、福祉人材育成を強化するとともに、ボランティアや地域活動の参加促進を図ります。
- ・男女共同参画やDV被害者支援、地域コミュニティの活性化を進め、外国人を含め多様な人々が尊重され、生きがいを持ち安心して暮らせる地域づくりを推進します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
見守りネットワーク事業協定を締結した事業所数（累計）	調整中	調整中	
生活保護からの自立世帯数（累計）	調整中	調整中	
地域で生活するようになった障がいのある人の数	調整中	調整中	
障がい者施設入所者の地域生活への移行率	調整中	調整中	
民生委員・児童委員の充足率	調整中	調整中	
日本語教室や多文化共生事業のボランティア登録者数	調整中	調整中	

●主な取組

- ・シルバー人材センター事業
- ・老人クラブ活動等事業
- ・自立支援給付事業
- ・地域生活支援事業
- ・障害者福祉扶助事業
- ・再犯防止活動推進事業
- ・児童虐待対策事業
- ・成年後見制度利用促進事業
- ・市民後見推進事業
- ・健康福祉推進計画策定事業（再掲）
- ・看護師等確保対策事業
- ・人権啓発活動活性化事業
- ・市民活動支援事業
- ・外国人も暮らしやすいまちづくり事業

基本方針6. 健全で効率的な行財政運営を実現するまち



現状と課題

- ・「市政情報の発信及び市民からの意見聴取」に満足する市民の割合は5年前から上昇していますが、市政への理解と信頼を深め、より多くの市民がまちづくりに主体的に関わるために、さらなる向上が求められています。
- ・本市の財政状況については、令和5年度及び令和6年度の経常収支比率は100%を超過し、経常的な経費を経常的な収入のみでは賄えない状況となっており、改善が求められています。
- ・ふるさと納税額は増加傾向にあり、自主財源確保の一つの手段としての役割を担っています。

目指すべき姿

- ・デジタル化や業務改善が進み、利便性の高い行政サービスが提供されている。
- ・自主財源の確保と支出の効率化で健全な財政が維持されている。

●基本目標

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「市政情報の発信及び市民からの意見聴取」 に満足する市民の割合	調整中	調整中	
将来負担比率	調整中	調整中	

基本施策

(1) 市民サービスの安定化と利便性の向上

- ・ 行政手続や情報提供のデジタル化を進め、市民のデジタルリテラシーの向上に資する取組を進め、誰もが必要なサービスに迅速・確実にアクセスできる体制を整えます。
- ・ フロントヤード改革による、オンライン化・マイナンバーカード活用等を推進し、窓口業務の効率化と利便性向上を図ります。
- ・ 広報誌・ホームページ・SNSを組み合わせた情報発信や市民参画機会を拡充し、信頼される行政運営を実現します。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
市ホームページの年間ページビュー数	調整中	調整中	
市公式LINE登録者数	調整中	調整中	
「行政サービスのデジタル化」に満足する市民の割合	調整中	調整中	

●主な取組

- ・ ホームページ等運営事業
- ・ 広報誌発行事業
- ・ 出張所維持管理事業
- ・ 基幹系システム維持管理事業
- ・ 情報系システム維持管理事業
- ・ 市政協力員設置事業
- ・ マイナンバーカード交付事業
- ・ 証明書等コンビニ交付事業
- ・ 窓口業務デジタル化推進事業

(2) 健全な財政基盤の確立

- ・限られた人材・財源的資源を有効活用し、デジタル技術を活用した行政事務の効率化を図りながら、持続可能な行政運営に取り組みます。
- ・事業評価を基盤としたマネジメントサイクルを確立し、計画的な予算管理を推進します。
- ・公共施設等総合管理計画及び公共施設等個別施設計画に基づき、施設のあり方を総合的視点から見直し、適正配置、適正管理を推進するとともに、安全かつ快適な利用環境の創出に努めます。
- ・学校跡地をはじめとする遊休施設については、今後の行政需要や多様化する市民ニーズへの対応など、中長期的な視野に立った効果的な活用を検討します。
- ・ふるさと納税を戦略的に活用し、自主財源の強化を図ります。地域資源を活かした魅力的な返礼品の充実や寄附者の利便性向上、ポータルサイト等による情報発信の充実により、継続的な寄附の確保につなげます。
- ・広告収入による新たな財源の確保にも取り組み、歳入の多様化と安定的な財政基盤の構築を進めます。

●重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値 (基準年次)	目標値 (令和12年度)	備考
「行財政運営の効率化及び健全化」に不満を持つ市民の割合	調整中	調整中	
遊休施設(13施設)のうち活用方策等を決定した施設数	調整中	調整中	
ふるさと納税額	調整中	調整中	

●主な取組

- ・強い鴨川づくりに向けた財政等適正化推進事業
- ・行政事業レビュー事業
- ・業務改善事業
- ・遊休施設活用推進事業
- ・ふるさと納税推進事業
- ・地方創生応援税制推進事業（企業版ふるさと納税）

第8章 総合戦略

(調製中)

資料編

1. 各種条例
2. 計画策定の経過・委員名簿
3. 用語一覧